



後藤 晃 先生 近影

後藤 晃先生退職記念号に寄せて

経済学部長 岡 村 勝 義

後藤晃先生は、2015年3月31日付で神奈川大学を定年退職され、同年4月1日付で本学名誉教授となりました。

先生は東京大学を卒業し、同大学大学院に進学され修士課程と博士課程において農業経済学を専攻されました。その後、同大学東洋文化研究所助手、アジア経済研究所共同研究員、西アジア地域研究センター在テヘラン所員等を経て、1981年に本学経済学部に着任されました。それ以来、専任教員として34年の長きにわたり経済学部での教育と研究に携わってこられました。

先生の専門分野は中東の経済および農業経済であられ、先生はその分野の研究著書、学術論文等を数多く出版・公表され、斯界の第一人者として高く評価されておられます。2002年に上梓した『中東の農業社会と国家』（御茶の水書房）は、先生の主要な研究業績の一つとして挙げられますが、この学術研究に対してイラン大統領から学術賞を受賞されておられます。経済貿易研究所で受賞時に贈られた金貨を、たまたま拝見させて頂いたことを思い出します。先生は定年を迎えられる年に『民具の名称に関する基礎的研究』（2015年3月）を、またその前年に『人口・移民・都市と食』（2014年10月）を上梓し、精力的に研究を進めておられます。本誌本号に掲載の研究業績一覧において、先生の精力的な研究成果の全容を見て取ることができます。

先生は、講義やゼミナール等において学生の教育に熱心に取り組まれてこられ、数多くの卒業生を社会に送り出してこられました。このような教育貢献により、神奈川大学における、2014年度のグッドティーチャー賞を受賞されております。

先生は、研究および教育の領域だけでなく、大学や学部運営の面でも大きな貢献をされてこられました。学校法人神奈川大学理事や法人評議員の要職に就かれ、また経済貿易研究所所長、評議会評議員、経済学部長等の教学の要職にも就かれ、本学および経済学部の発展に大きく寄与されてこられました。

先生は絵画美術に造詣が深く、多くの趣味をお持ちと聞いております。今後もご自愛なされ、ますますご活躍なさいますよう心からお祈り申し上げます。